

# 菅生社協だより

2022年2月19日発行

第11号

〔発行〕菅生地区社会福祉協議会

☑発行者 藤本幸子  
☑地区社協だより編集部

## 心のふれあいと連帯感を深めながら、 支え合う社会を目指して



グラウンドゴルフ交歓大会

### 新型コロナウイルスの中での活動を振り返って



会長 藤本幸子

明けましておめでとうござい  
ます。昨年はコロナで始まりコ  
ロナで終わりました。

たくさんの方が辛い悲し  
い時間を過ごされたことと思  
います。

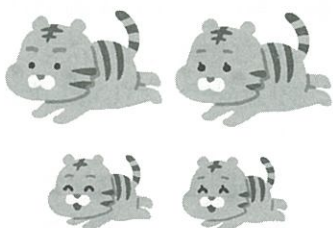
そして、菅生地区社会福祉協  
議会でも、大きな事業が中止  
となり、総会・体育祭・コミュ  
ニティまつり・三世代ウォーキ  
ング・カレーの会、そして独居  
のお弁当配布。多くの高齢者の  
方々が待つて下さっているにも  
関わらずとても残念に思ってい  
ます。

その中で唯一、十月十六日、  
防災についての福祉講演会を国  
土交通省の方たちを招いて、コ  
ロナ対策、人数制限をし、「マイ  
タイムライン」についてスライ  
ドを見ながらお話をさせて頂き  
ました。そして、一番大事なこ  
とは、いち早く避難を命を守る  
こと。まず自分を、家族を持っ  
て近隣、高齢者、障害を持つ  
ている人を皆で支えること。そ  
れには常日頃からの付き合い繋

がりが大切だと感じました。で  
きれば各地域で自分たちの自主  
防災を作ること。基礎をしっか  
り学び、話し合い、実行するこ  
とだと思いました。

コロナもまだまだ続くと思  
います。家庭でできること、マス  
ク・手洗い・うがい・消毒を守っ  
て下さい。元気で日々を過ごし  
て頂くためのお手伝いを役員・  
民生・ボランティアの方たちと  
共に頑張つてまいります。また、  
皆さまのご協力をよろしくお願  
いします。

なお、「社協だより」作成に  
あたりたくさんの方々にご協力  
を頂きましたことに、深く感謝  
いたします。



令和3年度 菅生地区社会福祉協議会 福祉講演会

# みんなで避難を考える

菅生地区小地域ケア会議（ケア会議）では保健・福祉・介護等に関する地域の困りごと・気になることについて話し合い、様々な活動を行っています。『菅生学区川柳大賞』もその活動の1つでしたが、昨年に引き続き2年連続で新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえて中止とさせていただきます。その代わりに、今年度は以前より議題として検討を続けてきた『防災』について菅生地区社会福祉協議会との共催で講演会を実施することができました。



『マイ・タイムラインの作り方や防災情報を収集する方法』というテーマで国土交通省中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所副所長 高橋 泰治 様、総務課総務係長 野田 充慶 様にご講演をいただきました。国土交通省では「小田川の付け替え事業」と「堤防強化」の事業を行っており、令和5年度の完成に向けハード面の整備を続けておられます。ただ、自然災害であるので人間の想定している以上のことが起こる可能性はどうしても残ります。起きてはいけない災害がまた身近になってしまう恐



れがあるので、ソフト対策としてマイ・タイムラインなどの平時からの備えが重要になることでした。危険が迫っているときに、いつ・どのタイミングで避難をするのかを判断するのは難しいことですが、事前に『このタイミングで避難をする』と決めておくことや、雨雲レーダーなどの防災情報を収集して身近な環境の状況が把握できるようにしておくなどできることがたくさんあることがわかりました。

また、隣近所にお住まいの人の中で、自分一人では避難が難しいという方も増えてきていると思います。そういった人たちを地域でどう支えていくか、というところでもたくさんのヒントがありました。まずは自己紹介から始めてお互いに顔の見える関係づくりをしていく。そして地域の人が集まって、どこまで支援ができるのかを話し合っていくことが重要であることでした。普段から小さなことを地道に積み上げていくことが、いざというときに役に立つことがわかりました。今回は、民生・児童委員や町内会長など36名の方にご出席いただきました。感染対策を徹底し、会場定員の半分の人数での開催でしたが、普段と変わらない熱気でした。

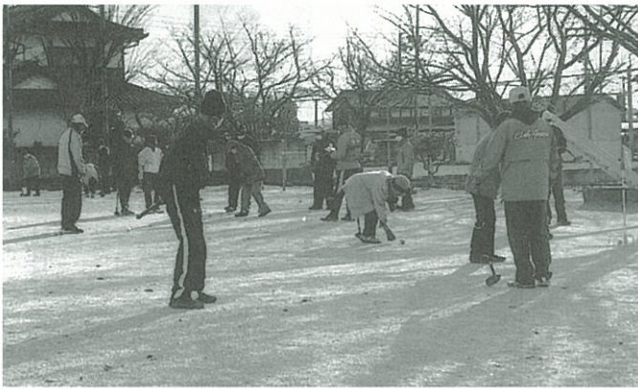
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

小地域ケア会議事務局倉敷北高齢者支援センター  
篠山寛史

# 菅生学区グラウンドゴルフ交歓大会を 盛大に終えて

去る12月8日、上西坂公園グラウンドにおいて、コミュニティ協議会主催、菅生地区社会福祉協議会、老人クラブ連合会共催で、菅生学区の皆さまの親睦と健康維持を目的に第9回グラウンドゴルフ交歓大会を開催しました。

開会式では、コミュニティ協議会山内会長、佐古一太県議会議員、矢野周子市議会議員の祝辞を頂きました。また、各部会の会長さん、倉敷北高齢者支援センターから2名の介護士さん等、総勢70名参加となり、盛大な大会となりました。



昨年から猛威をふるっていた新型コロナウイルスもようやく落ち着きをみせてきた所での開催でしたが、競技参加者62名全員がマスクを競技中もとらず緊張感をもってプレーをしました。

優勝は木曾福一さん、準優勝は隠地正樹さんの西坂台で独占されました。おめでとうございます。

また、今回は、コミュニティ設立30周年にあたり、記念すべき大会なので、特別賞として、地区社会福祉協議会会長賞、老人クラブ連合会会長賞、そして、グラウンドゴルフの功労者藤井弘一郎賞をそれぞれの受賞者に授与して頂きました。

なお、団体賞として各地区上位5名の総合点数により決定し、賞状と寅年カレンダーを贈呈しました。



優勝	西坂台みどり会
準優勝	上西坂ニコニコ会
第3位	生坂ハイツゆずりはの会

最後は、参加者全員に交通安全母の会より夜行タスキ、心ほっとサポーターから啓発用ポケットティッシュ等が配られました。

閉会の挨拶は老人クラブ連合会の藤井裕志会長の言葉で全て終了。これも皆様方のご協力のたまものと心より感謝し御礼申し上げます。

菅生学区グラウンドゴルフ交歓大会  
実行委員会委員長 佐伯 勲



# 地域とともに 未来を創る学校をめざして

地域の皆様方には、いつも菅生っ子を温かく見守っていただき心からお礼申し上げます。本校は、倉敷市内で他校に先駆けて取り組んでいるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)も今年で五年目を迎えました。これは、地域と学校が目的とビジョンを共有し、力を合わせて学校運営を行い、地域とともにある学校づくりを目指す取組です。「笑顔いっぱい」の菅生小「地域とともに未来を創る学校」の実現を目指し、今年度は、「積極的に関わる子ども」「心豊かな子ども」の育成を重点に取り組んできました。コロナ禍ということで、例年のようには学校行事や体験活動ができません。そのような中でも、「コロナ禍の中でもできることを考えよう」「コロナ禍をきっかけに新しいことに挑戦してみよう」を合い言葉に、子どもたちと一緒に取り組んできました。コロナが収束して、これまでのように地域の皆様方と一緒に活動できる日が一日でも早く来ることを願っています。

さて、最近、菅生小に明るいニュースが

ありました。十一月十九日に元バレーボール全日本代表の荒木絵里香さんが、一日倉敷警察署長として母校の菅生小に来校されました。オリンピックに四回も出場した一



流アスリートが先輩にということを楽しんで思っています。当日は、六年生が中心になって荒木さんの来校を歓迎する会を開きました。荒木さんには、全校児童からの寄せ書きのメッセージと運動委員会からのちぎり絵のパネル、六年生からのしおりをプレゼントしました。低学年の下校時には、荒木さんが校門に立って、安全に下校するように子どもたちに呼びかけてくれました。荒木さんにとっても子どもたちにとっても、思い出に残る一日になったと思います。引き続き、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

菅生小学校 校長 佐野 薫

ひとりでも  
悩まず  
相談しよう



人権イメージキャラクター

倉敷人権擁護委員協議会  
〒710-8520 倉敷市幸町 3-46  
岡山地方務局倉敷支局内  
TEL 086-422-1260

## 友愛訪問について

私は二〇二一年度の菅生学区愛育委員をお引き受けするにあたり、当番が回ってきたので与えられた責務を果たすという最低限の気持ちでした。愛育委員の業務は、①広報誌の配布 ②学区会議で配布されたものの回覧・掲示 ③赤十字活動資金の集金活動 ④学区・地区行事のお手伝い ⑤友愛訪問事業活動 と行政等の活動を末端までお知らせするアナウンサー・メッセンジャーの役割だなどと思いスタートしました。しかし、友愛訪問事業は「これは関わる人の感性で随分と結果に差が出る事業だな。俄然やりがいを感じるわ。」と思いましたが。また、もうすぐ九十歳と八十九歳になる両親の、ゆっくり確実に老いている現状に係っている事を重ねながら、関わらせて頂ければハッピーになれるのではと訪問活動に取り組みました。先ず自己紹介をしたら義母にお世話になったというエピソード。しっかりと話を聞かせていただきました。ほっこり。お庭の植物の話で盛り上がりました。我が家のバラを褒めていただき、来シーズンは我が庭にお越しください。などとお約束もしました。

毎回わざわざお話を来てくれてありがとうございます。言葉をいただいています。責務を果たすからのスタートがハッピーに変わった自分になっています。

みんなが友愛訪問事業の目的を知って気にかければ、ご近所さんが一番の見守り隊キーパーですね。決してお節介ではありません。

菅生学区愛育委員会三田支部 熊代智子

## 「水車の里」の活動報告

「チンゲン菜がおおきくなったなあ。」  
「どこかに持って行かんといけんねえー。」  
「そうじゃ、今度サブ支援センターの阿部さんが来るので聞いてみらー。」  
ということと先日桃花源に野菜を持って行きました。

水車の里農園には共有地があつて、余った苗や種をまいて育ててうまく育った野菜を施設に届けています。実際にはこれだけでは少ないので、自分の畑のものを添えています。昨年大量の堆肥を購入して畑にばらまいたせいか、よく育っています。  
近年中止している収穫祭を来年はしたいと思っています。

ふれあいファーム 水車の里 小川泰政



## 保健所から

今年も昨年に引き続き、コロナ禍の一年でした。いつの間にかマスク生活が日常に変わりました。身体と心の調子はいかがですか。

保健所では、コロナ患者さんの体調確認や調査等を職員全員で協力して取り組んでいます。私は、患者さん調査を担当しました。けんしん結果や治療の病気などの身体情報は重症化リスクを考える際に重要であり、治療方針に影響します。だからこそ、けんしんが大切だと感じました。皆さん、けんしんを受けられていますか。健康な未来に備え、けんしんを受けましょう。

そして、最近嬉しかったこと。今年のレントゲン検診は十月から愛育委員さんにお手伝いいただきました。愛育さんのおかげで、検診会場の雰囲気が変わることに気づきました。「久しぶり！元気にしとるん？」の声掛けと笑顔で、受診に來られた方も嬉しそう。地域のあたたかさを感じました。家庭訪問では、「歩いていけると声をかけてもらうことが多い。あたたかくて住みやすい場所だなあ」という声をいくつも聞きました。地域を大事にされている菅生学区の皆さんが、心身健やかで過ごせるよう、これからも健康づくりを応援していただきます。

菅生地区担当保健師 穂崎由佳

令和2年度 収支決算書

(収入)		単位：円
科目	決算額	摘要
助成金	474,000	倉敷市社会福祉協議会から
内 一律助成金	80,000	
内 運営助成金	156,000	前年度社協会費実績の20%
内 福祉活動助成金	88,000	前年度共同募金実績の10%
内 訳 メニュー事業	150,000	1事業30,000円×5事業
活動費	0	学区コミュニティ協議会から
寄付金	30,800	
事業収入	0	
雑収入	2	預金利息
繰越金	65,823	
計	570,625	

(支出)		単位：円
科目	決算額	摘要
事務費	132,679	
内 印刷費	104,338	菅生社協だより、コピー料金等
内 通信費	5,320	切手、はがき等
内 訳 消耗品費	7,073	用紙、インク等
内 会議費	15,948	総会、理事会、役員会等の茶等
メニュー事業費	86,429	
内 歳末助けあい活動	0	カレーの会とお飾り作り、独居高齢者との食事会及び弁当配布
内 福祉講演会の開催	0	福祉講演会の開催
内 住民同士の交流活動1	11,310	三世代ウォーキング、グラウンド・ゴルフ大会、川柳大会
内 住民同士の交流活動2	15,000	学区体育祭、グラウンド・ゴルフ
内 要支援者訪問活動	60,119	高齢者への声掛け、見守り訪問
雑費	11,510	ボランティア保険他
計	230,618	

収入 570,625 円 - 支出 230,618 円 = 340,007 円  
 次年度への繰越金とします。

注) なお、メニュー事業未実施の場合は助成金を返還することになっている。5月に市社協へ報告を行いその結果、340,007円からその返還金を差し引いた額が実質的な次年度への繰越金となる。

『コロナのため面会謝絶?』

コロナ禍のため入所施設は、どこも面会をご遠慮していただいています。ご希望の方は、ガラス越し、時間制限などの条件により面会に来ていただいています。ターミナル期に入られた方は特例にて枕元まで寄り添い、暖かいお言葉をかけていただきました。それを機に一段と表情が明るくなって来ます。家族と接することがこれほど大切なことと感じたことはありません。ささやかですが、職員だけによる、お楽しみ会、カラオケ大会、誕生会など行っています。外食、外出、ボランティアの方々との交流、家族との面会が自由にできた以前のように、暖かい笑顔が多く見られますよう一日も早い終息を願うばかりです。

特別養護老人ホーム浅原桃花園  
 施設長 難波健男

監事	理事	庶務	副会長	会長
石原 森岡 米里 渡邊 間野 守屋 津島 西田 藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤
藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤
藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤	藤井 村上 赤場 光畑 西村 山縣 守屋 山内 小藤

菅生地区社会福祉協議会役員名簿

『障害を持つ人とともに』

「心ほっとサポーター」の動きは、精神的に障害のある方々に寄り添うという動きです。私は、2期生として約1年間の研修を受けました。ふだんの生活の中で、まわりにいる方々に関わらせていただいています。



ケース1 30代 男性 既婚

ふだんは作業所で、午前中、少しの時間働いている。精神的にナイーブで、人の言葉に傷つきやすい。

ケース2 50代 女性 独身

家族関係が希薄で、関係も良くない。一人暮らしをしているが、隣家の話し声などが気になる。

ケース3 30代 女性 独身

同居家族との折り合いが悪い。幻聴・幻覚があり、時々、奇声を発する。こうした身近にいる方々と、ふだんからの交流を通して、なんらかのサポートができればと思っています。

心ほっとサポーター 大村庸子

編集後記

地域の多くの方々のご意見・ご協力により、運営されてきましたこの社会福祉協議会の活動も新型コロナウイルス感染拡大により活動が縮小されましたが、来年度は初心にもどりで多くの活動をしてまいりたいと思いますので皆様のご協力よろしくお願ひします。

最後に編集にご協力下さった皆様ありがとうございました。

山縣 暁